

## 【プログラム9：これどう思う？あなたのモラルは？】

☆ねらい：「Yes or No？」を通して、モラルについて考えるきっかけとし、自分自身、また社会の一員として、「皆が『いいね！』と思う社会」を作ろうとする心情を高める。

### 《プログラムの概要》

キーワードの例	モラル
時 間	30分
人 数	何人でもできる。
活動形態	グループ（1グループは4～6名がよい）
準備物	「Yes or No？」例題シート（進行役用）、グループシート（グループ数）、コマ（人数分）、ワークシート（人数分）
主な活動	①「Yes or No？」を通して考える。 ②「皆が『いいね！』と思う社会」について考える。 ③考えたことや感想を全体に紹介する。
気を付けること	○「Yes or No？」の例題は、学年や学校等の実態に応じて、変更すると効果が高まる。 ○「Yes or No？」で、活動の感想発表を通して、自分の都合だけで考えるのではなく、「社会の一員として行動する」ことの大切さに気付かせる。 ○「皆が『いいね！』と思う社会」について考える活動では、生徒の実態に応じて、進行役がより具体的に発問したり、例示したりすることも必要である。
備 考	○新学期当初や長期休業日前等に行うと効果的である。
学習指導要領 特別活動との関連	【高等学校 ホームルーム活動】内容（2）ウ ク 【中学校 学級活動《現》】内容（2）ウ キ 【中学校 学級活動《新》】内容（2）エ （3）イ